

# 第 1 章 お使いになる前に

基本的な事項について説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

## 1.1 特長

### ● 100Mbit/s 対応 ISDN ダイヤルアップルータ

LAN ポートに 100Mbit/s/10Mbit/s のネットワークインタフェースを持ったパソコンを接続し、ISDN 回線を通してインターネットに接続できる ISDN ダイヤルアップルータとして利用できます。通信プロトコルとしては、TCP/IP をサポートしています。

### ● 各種アクセスラインに対応

INS ネット 64、フレッツ・ISDN、フレッツ・ADSL などの各回線種別に対応しているため後々の買い替えの心配がありません。

### ● アナログポート

電話機、ファクスなどのアナログ通信機器を接続することができます。また「フレックスホン」、「i-ナンバー」、「INS ボイスワープ」、「INS ナンバー・ディスプレイ」、「キャッチホン・ディスプレイ」、「迷惑電話おことわり」、「INS なりわけ」、「ダイヤルイン」などの INS ネット 64 のさまざまなサービスに対応しております。

### ● 11Mbit/s ワイヤレスネットワーク通信機能

別売の本商品専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」を IPMATE1600RD の PC カードスロットに装着することで、2.4GHz 帯周波数を使った IEEE802.11b 規格に準拠したワイヤレスアクセスポイント機能をお使いになれます。別売の本商品専用オプションステーションカード (IPMATE1600RD-STC) を搭載したパソコンは本商品と接続し、ダイヤルアップルータ、ブロードバンドルータ、アクセスポイントとしてお使いになることができます。

### ● ワイヤレス LAN 対応ブロードバンドルータ

ADSL モデムを WAN ポートに接続することで、別売の本商品専用オプションステーションカード (IPMATE1600RD-STC) を搭載したパソコンからブロードバンドでのインターネット接続ができます。LAN からインターネットへのアクセスに必要なルーティング機能、アドレス変換機能、セキュリティ機能が利用できます。

### ● アクセスポイント

本商品をアクセスポイントとして、ワイヤレス LAN インタフェースを持つパソコンから LAN への接続が可能になります。アドレス変換機能や IP フィルタ機能は動作せず、有線-ワイヤレス間のブリッジとして動作します。

### ● ISDN ターミナルアダプタ

USB ポートで接続したパソコンから ISDN 回線を使用して、同期 64k、同期 128k (BOD、BACP/BAP)、非同期 57.6/38.4/19.2/9.6k、PIAFS の各通信方式で接続しデータ通信ができます。また、常時接続回線としてはデジタル専用線 64/128k、OCN エコノミーに対応しています。

### ● 充実したセキュリティ機能

IP フィルタ機能により、外部からのパケットの流入をすべて阻止したり、特定のパケットのみを止めるなどの設定をすることによって、ネットワークのセキュリティを保護することができます。

また、MAC アドレスフィルタ機能を使用することで本商品に登録されていない MAC アドレスを持つワイヤレス LAN クライアントからのアクセスを制限し、不正なネットワークへの侵入を防止することができます。

### ● DSU 自動極性反転機能

ISDN 回線モジュラローゼットの極性が反転している場合に、内蔵 DSU が自動的に極性の切り替えを行なうため、特別な操作をせずに通信できます。

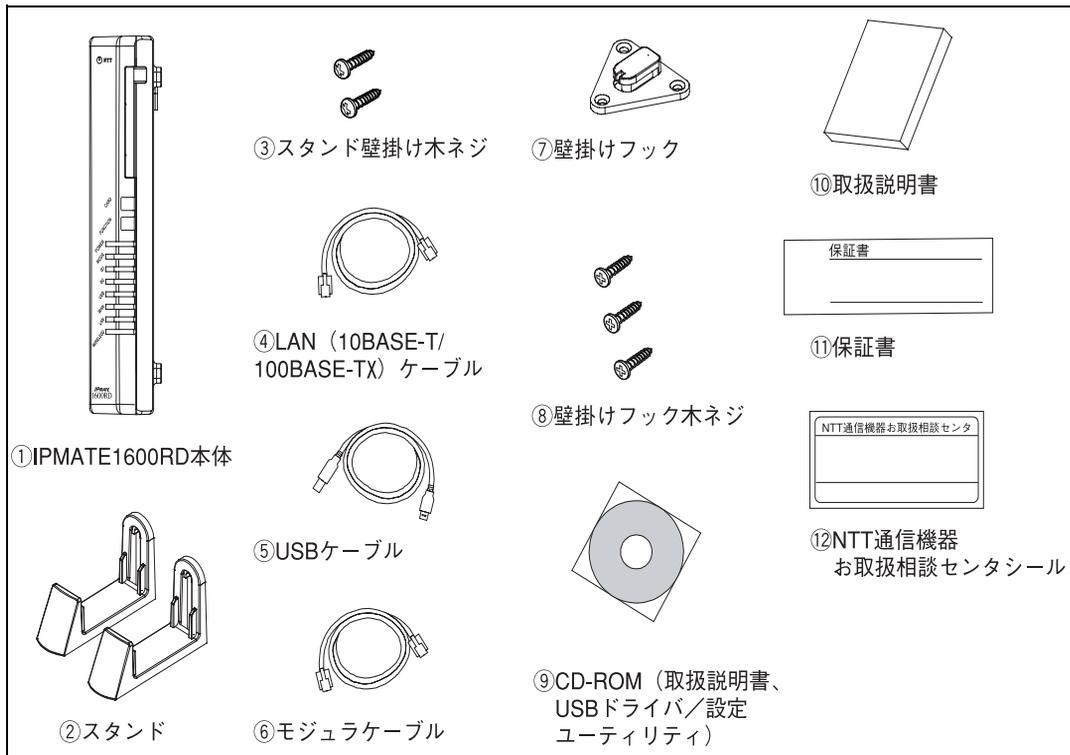
### ● 停電バックアップ機能

新品の単 3 形アルカリ乾電池で連続通話時間約 40 分、連続待ち受け時間約 60 分の動作ができます。乾電池の残量が少なくなると、本商品は動作しなくなります。

## 1.2 セットを確認してください

IPMATE1600RD には、次の品物が梱包されています。開封時に梱包内容をお確かめください。

### ● 梱包物

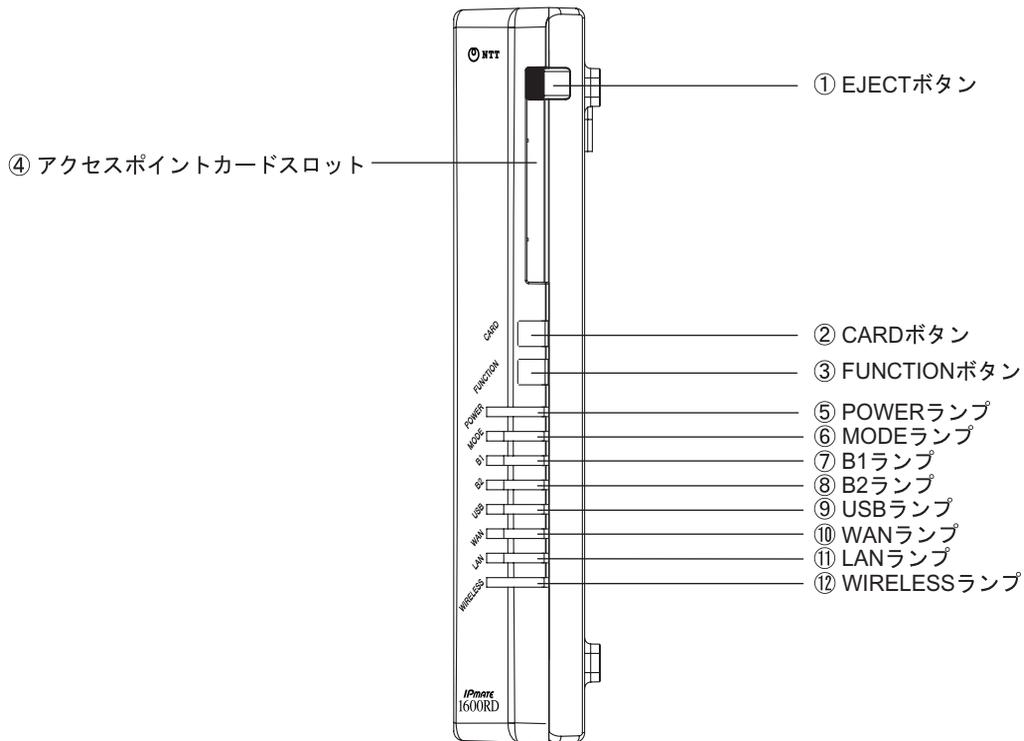


① IPMATE1600RD 本体	(1 台)
② スタンド	(2 個)
③ スタンド壁掛け木ネジ	(2 本)
④ LAN (10BASE-T/100BASE-TX) ケーブル	(1 本：約 3m)
⑤ USB ケーブル	(1 本：約 2m)
⑥ モジュラケーブル	(1 本：約 3m)
⑦ 壁掛けフック	(1 個)
⑧ 壁掛けフック木ネジ	(3 本)
⑨ CD-ROM (取扱説明書、USB ドライバ/ 設定ユーティリティ)	(1 枚)
⑩ 取扱説明書	(1 部)
⑪ 保証書	(1 枚)
⑫ NTT 通信機器お取扱相談センターシール	(1 枚)

- ・ セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

## 1.3 各部の名前

### ● 本体正面



### ● ボタンの基本操作

#### ① EJECT ボタン

別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」をとりはずす際に使用します。

#### ② CARD ボタン

別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」をとりはずす時に約 3 秒押します。カードの有効 / 無効の切り替えに使用します。

#### ③ FUNCTION ボタン

ISDN 回線の接続 / 切断や、128K マルチリンク PPP 時の B チャンネル本数の切り替えに使用します。  
また、本商品の電源投入から初期化完了まで押下し続けると工場出荷状態に戻ります。

#### ④アクセスポイントカードスロット

別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」を装着脱させます。  
IPMATE1600RD が別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」を認識すると WIRELESS のランプが点灯します。

## ● ランプ表示

⑤ POWER ランプ	緑	点灯	AC 電源で動作中。
	橙	点灯	オンラインサポートモードで動作中。
	赤	点灯	乾電池で動作中。
		点滅	電池残量が少ない。
⑥ MODE ランプ	緑	点灯	ダイヤルアップルータモードで動作中。
		点滅	ダイヤルアップルータモードで着信したメール有り。
	橙	点灯	ブロードバンドルータモードで動作中。
		点滅	ブロードバンドルータモードで着信したメール有り。
	赤	点灯	TA モードで動作中。
		点滅	TA モードで着信したメール有り。
⑦ B1 ランプ	緑	点灯	回線交換モードで B1 チャンネルを使用中。
		点滅	通信中。
	橙	点灯	専用線モードで B1 チャンネルを使用中。
		点滅	回線交換モードで D チャンネルを使用中。
			専用線モードで回線に異常有り。
	赤	点滅	回線に異常有り。
⑧ B2 ランプ	緑	点灯	回線交換モードで B2 チャンネルを使用中。
		点滅	通信中。
	橙	点灯	専用線モードで B2 チャンネルを使用中。
		点滅	回線交換モードで D チャンネルを使用中。
			専用線モードで回線に異常有り。
	赤	点滅	回線に異常有り。
⑨ USB ランプ	緑	点灯	USB ポートに機器が接続中。
		点滅	通信中。
	赤	点滅	USB ポートに異常有り。
⑩ WAN ランプ	緑	点灯	WAN ポートに機器が接続中。(ブロードバンドルータモード以外では点灯しません。)
		点滅	通信中。
	赤	点滅	WAN ポートに異常有り。
⑪ LAN ランプ	緑	点灯	LAN ポートに機器が接続中。
		点滅	通信中。
	赤	点滅	LAN ポートに異常有り。
⑫ WIRELESS ランプ	緑	点灯	別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」を正常認識した。
		点滅	通信中。
	赤	点滅	別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」を正常に認識できない。

## ● 専用線接続時のランプ表示 (B1、B2 ランプ)

種別	B1	B2
64k	橙点灯	消灯
128k	橙点灯	橙点灯
OCN	消灯	橙点灯

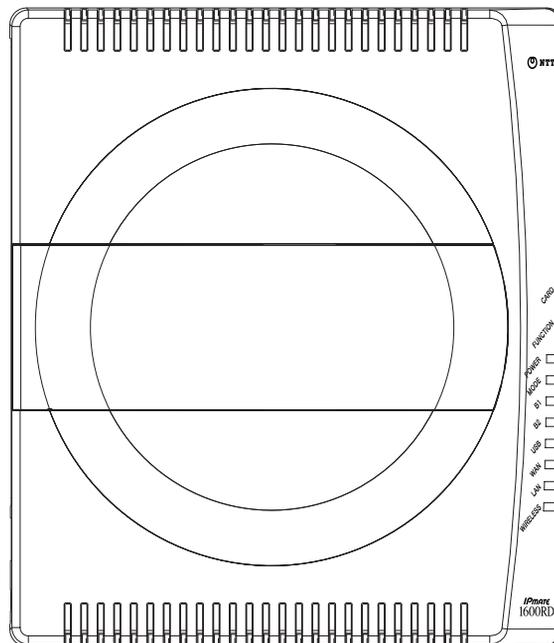
- ・ 専用線接続時は、通信中でも点滅しません。
- ・ 回線交換時に D チャネルを使用すると B1/B2 ランプが橙点滅します。

### ☆Point

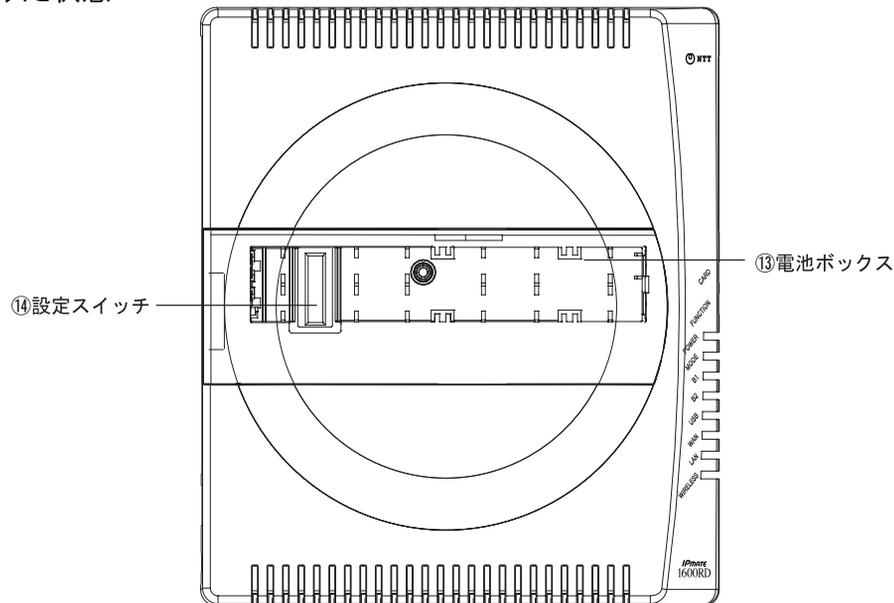
- ・ 電源投入直後および再起動直後はすべてのランプが橙点灯します。

## ● 本体左側面

- ・ 電池カバーを閉めた状態



- ・ 電池カバーを開けた状態



### ⑬電池ボックス

停電時のバックアップ用の乾電池を入れます。停電中でも TEL1 ポートに接続したアナログ通信機器が使用可能になります。

- 単3形アルカリ乾電池「LR6 (C)」を6本使用し、停電時に連続して約40分の通話ができます。(動作可能時間はご使用の乾電池や使用条件によって異なりますのでご注意ください。)
- 停電時、乾電池で動作している場合は、TEL2、USBポート、WAN、LANポート、オプションのアクセスポイントカード、およびS/T端子に接続された通信機器は使用できません。

### ⚠ 警告・注意

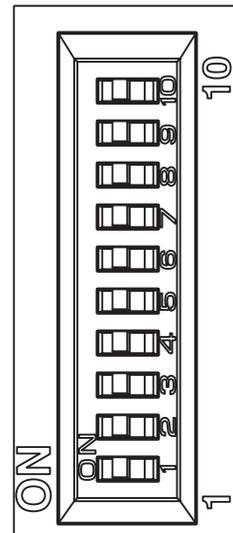
- 乾電池は+-の正しい方向でお入れください。誤った方向で乾電池を入れると、火災や故障の原因となります。
- 乾電池は新しく購入した十分に電池残量のある単3形アルカリ乾電池(LR-6)をご使用ください。異なる種類の乾電池(マンガン乾電池など)や残量の少ない古い乾電池を使用すると、乾電池の液漏れや破裂の恐れがあります。
- 停電がない場合でも1年に1回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。また、乾電池の劣化により、停電時にバックアップ機能が働かなくなるおそれがあります。

## ● 設定スイッチ

本商品をお使いになるモードや動作環境に合わせて設定スイッチの変更が必要となる場合があります。

### ⑭設定スイッチ

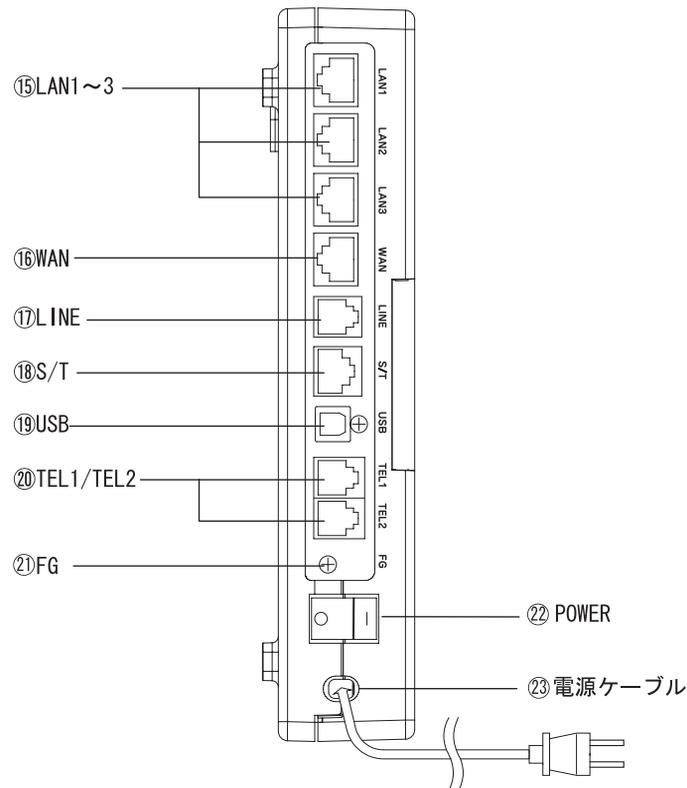
	ON	OFF
1 2	終端抵抗あり	終端抵抗なし
3 4 5 6	内蔵 DSU 使用	内蔵 DSU 機能切り離し
7	USB ポート使用時 OS によって設定	
	Windows®98SE	Windows®Me、 Windows®2000、 Windows®XP
8 9	専用線モード (64k/128k)、OCN エコノミー モードの切り替え	
10	常に ON	—



### 📖 参照

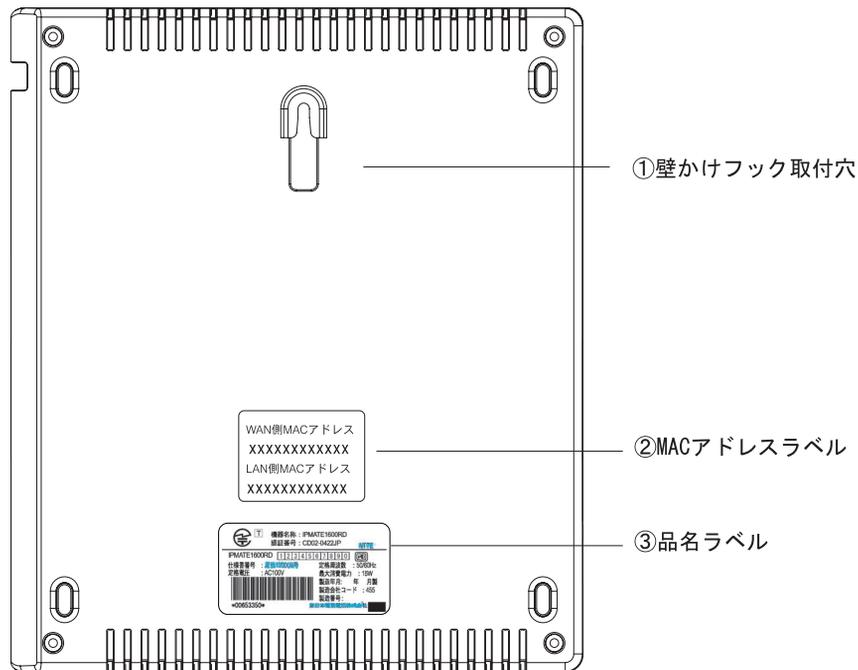
- 設定スイッチの変更は必ず本商品の電源を切ってから行ってください。
- 詳しくは、「付録 5 設定スイッチ」(p. 付-15)をご参照ください。
- 工場出荷時の設定スイッチはすべて ON です。

## ● 本体背面



- ⑮ LAN1 ~ 3      LAN ポート：パソコンを LAN ケーブルで接続します。
- ⑯ WAN            WAN ポート：ADSL モデムの LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。
- ⑰ LINE           ISDN 回線（U 点）：付属のモジュラケーブルで ISDN 回線に接続します。
- ⑱ S/T            S/T 端子：INS ネット 64 用通信機器を機器最大 7 台まで接続することができます。または「DSU 使用」スイッチを切り替えることにより、外部の DSU と接続することができます。
- ⑲ USB            USB ポート：付属の USB ケーブルでパソコンの USB ポートと接続します。
- ⑳ TEL1/TEL2    アナログポート：アナログ通信機器を接続します。停電による乾電池バックアップ時に使用する機器は、TEL1 ポートに接続します。
- ㉑ FG            FG 端子：アース線をつなぎます（アース線は付属していません）。
- ㉒ POWER        電源スイッチ：電源の ON/OFF を切り替えます。
- ㉓ 電源ケーブル   電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

## ● 本体右側面



- ① 壁かけフック取付穴 本商品を壁にかけてご利用になる場合、添付の壁かけフックを取付けます。「付録3 本商品を壁に取り付けるには」(p.付-12)をご参照ください。
- ② MAC アドレスラベル 本商品の WAN 側、LAN 側 MAC アドレスが表示されています。
- ③ 品名ラベル 本商品の認証番号、製造年月などが表示されています。

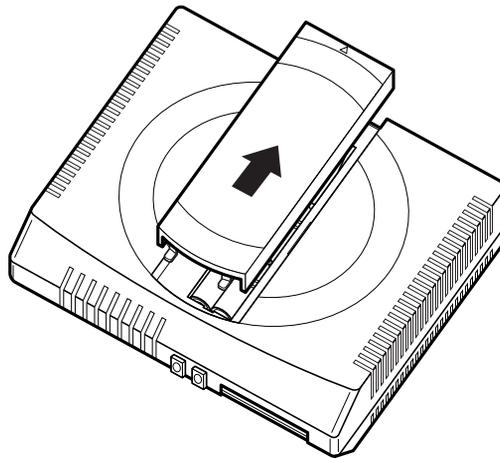
## ★Point

- 本商品のワイヤレス機能をお使いになる場合 ESSID の工場出荷時初期値は 1600RDXXXXXX です。XXXXXX は WAN 側 MAC アドレス下 6 桁です。付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第 2 部「第 8 章 ワイヤレス LAN の使い方」(p.8-1)をご参照ください。

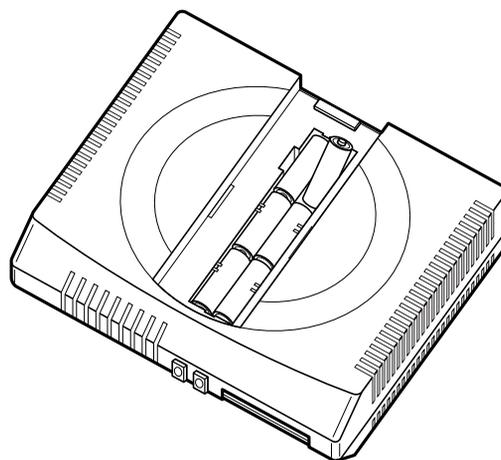
## 1.4 停電になったときのために

乾電池を入れることにより、不意の停電の際でも、TEL1ポートに接続したアナログ通信機器での通信ができます。TEL2ポートおよびLINE、S/Tポート、USBポート、WAN、LANポートに接続した機器、ワイヤレスLANに接続する機器では通信できません。

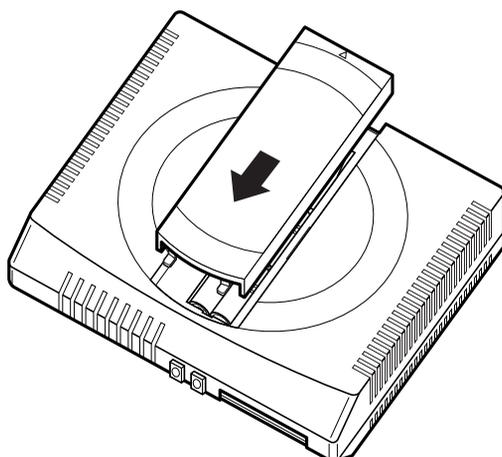
- 1 電池カバーを△方向に押しながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。



- 2 単3形アルカリ乾電池を6本入れます。乾電池を入れるときは、プラス(+)・マイナス(-)の向きを確かめて入れてください。乾電池はお客様までご用意願います。



### 3 電池カバーを取り付けます。



#### ☆Point

- TEL2 ポートで通話中に停電があった場合でも、その通話が終了するまでは継続されます。
- 停電時には TEL2 ポートでの発着信はできません。
- 新品の単 3 形アルカリ乾電池で連続通話時間約 40 分、連続待ち受け時間約 60 分の動作ができます。乾電池の残量が少なくなると、本商品は動作しなくなります。
- 電池動作モードは TEL1 ポートだけを使用できます。
- パソコンの背面のコンセント等から本商品の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、停電時の動作と同じになる場合があります。乾電池が消耗します。電源は直接、商用電源のコンセントからとることをお勧めします。
- S/T 端子や USB ポートまたは LAN ポートに接続した機器の種類によっては、乾電池の消耗を早めるものがあります。停電時は、必要でない機器を本商品から外してください。
- 停電時に乾電池の残量が少なくなると、本商品の TEL1 ポートも動作しなくなることがあります。また、使用中に本商品の電源が落ちることがあります。
- 単 3 形アルカリ乾電池はお客さままでご用意いたします。
- 停電後、本商品の日時が初期設定に戻っている場合があります。正しい日時を設定し直してください。付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第 2 部「6.16.1 日付・時刻設定」(p.6-52) をご参照ください。

#### ⚠ 注意

- 保証期間外や残量がなくなった乾電池は使用しないでください。そのまま使用していると乾電池が液もれなどをおこし、故障の原因となることがあります。
- 停電回復後すぐに乾電池を交換する場合は、乾電池が熱くなっていることがありますので注意してください。
- 停電がない場合でも 1 年に 1 回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。また、乾電池の劣化により、停電時にバックアップ機能が働かなくなるおそれがあります。

## 1.5 各種契約の確認

### 1.5.1 各種回線加入契約の確認

本商品では、次の回線サービスに接続できます。詳しくは以下のサービス取扱所へお問い合わせください。

回線サービス	提供会社
ISDN サービス INS ネット 64 フレッツ・ISDN (IP 接続サービス)	NTT 東日本 NTT 西日本
インターネットサービス OCN ダイアルアクセス OCN エコノミー スーパー OCN ビジネス OCN	NTT コミュニケーションズ
専用線サービス HSD DA64/128	NTT 東日本 NTT 西日本
ADSL サービス フレッツ・ADSL	NTT 東日本 NTT 西日本

#### ● INS ネット 64 をご利用のとき

INS ネット 64 をご契約のときは、以下の事項に従ってください。

- インタフェース形態およびレイヤ1 起動種別は、「P-MP 呼毎」または「P-MP 常時」を指定してください。本商品は、「P-P」接続はサポートしていません。
- 通信中着信通知サービスの利用契約をしてください。

MP (マルチリンクプロトコル) 通信中の電話優先着信、およびフレックスホンサービスを正常にご利用になるために必要です。

#### ● 専用線サービス、OCN エコノミー、スーパー OCN、ビジネス OCN をご利用のとき

本商品では HSD、DA64/128、OCN エコノミーをご利用の場合はアナログポートと TA 機能は使用できません。

#### ● フレッツ・ADSL をご利用のとき

- フレッツ・ADSL をご利用の場合、本商品の LAN に接続したパソコンから、INS ネット 64 を使用してダイヤルアップ接続することはできません。

## 1.5.2 プロバイダ加入契約の確認

---

インターネットを利用する場合は、インターネットにアクセスするサービスを提供するインターネットプロバイダに加入してください。

### ● インターネットプロバイダの選択

通信速度が同期（64kbit/s）、またはマルチリンク PPP（128kbit/s）のアクセスポイントを持つインターネットプロバイダに加入してください。

「ダイヤルアップルータモード」でご使用の場合、非同期 V.110 のアクセスポイントには接続できません。

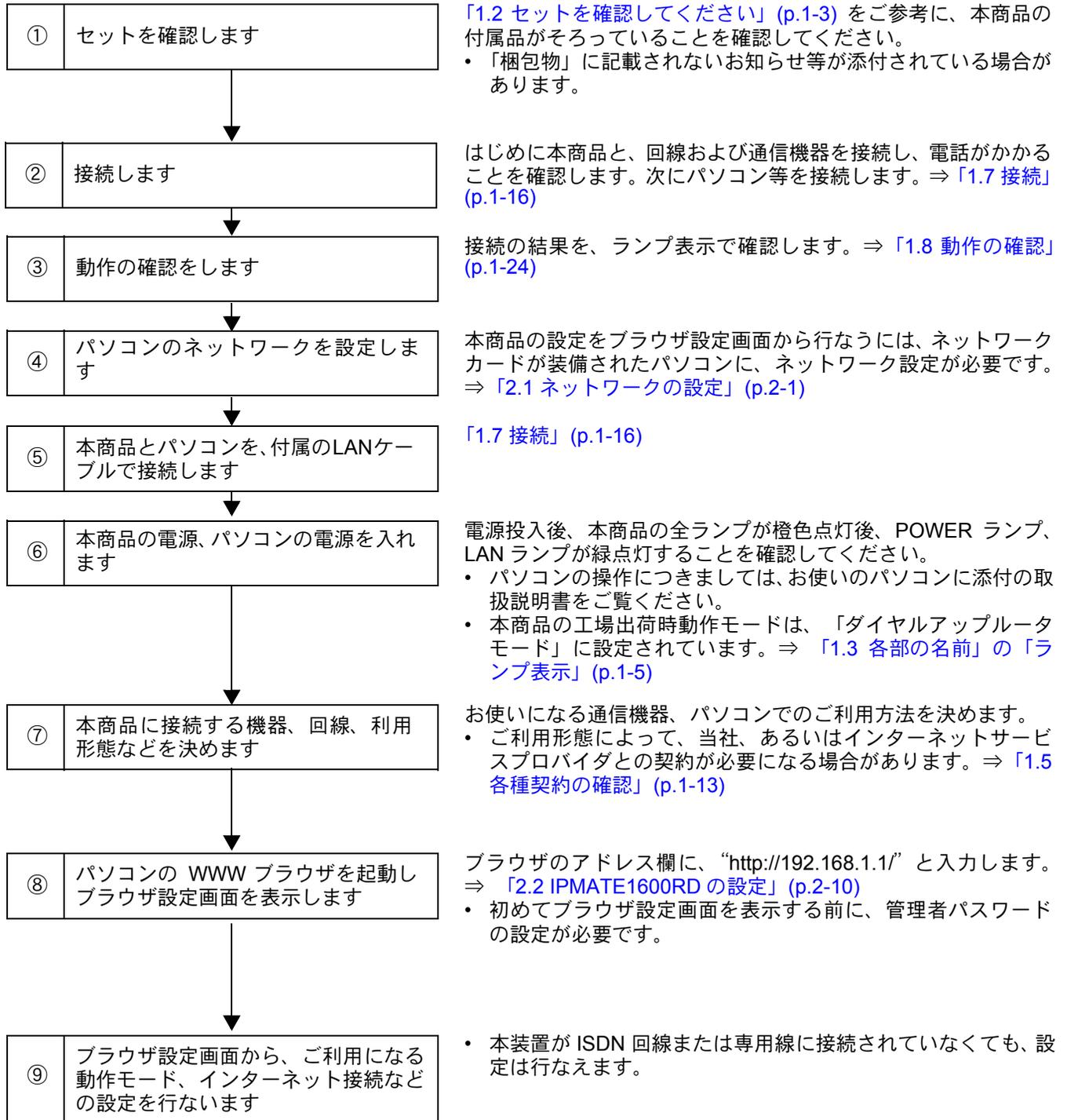
「TA モード」でご使用の場合、非同期 V.110 のアクセスポイントに接続できます。

### ● インターネットプロバイダに加入したら

インターネットプロバイダに加入すると、ユーザ認証 ID、パスワード、DNS サーバのアドレス、アクセスポイントの電話番号などが通知されます。これらの情報は、インターネットにアクセスするための設定を行なうときに必要です。

## 1.6 操作の流れ

本商品をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れは以下のとおりです。



### ☆Point

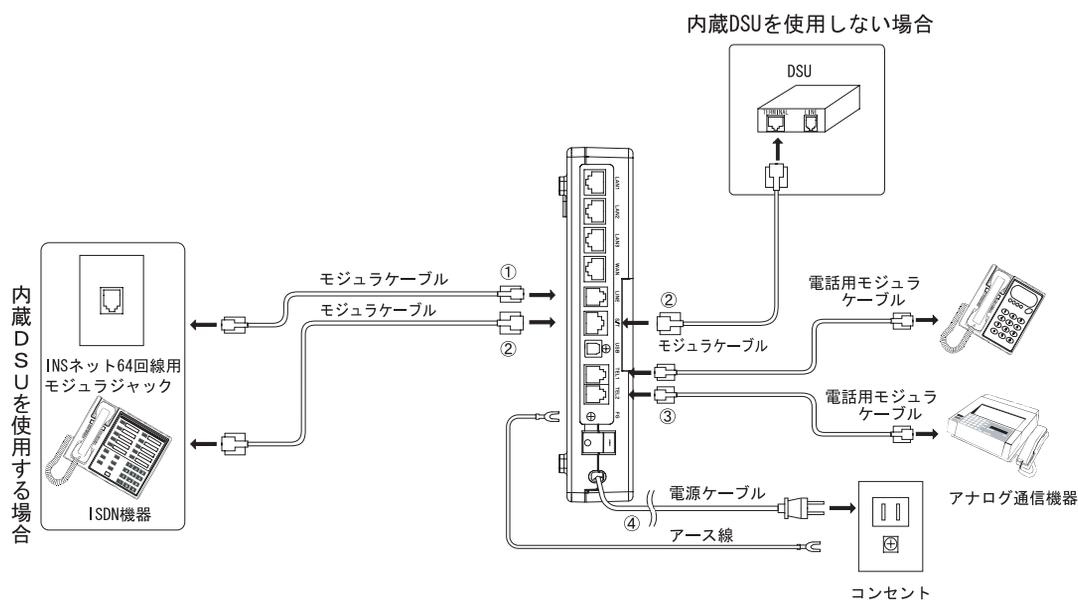
本商品には、あらかじめプライベートアドレスが設定されています。本商品の設定を行なう前に既存の LAN への接続は絶対に行ないません。

## 1.7 接続

IPMATE1600RD の各ポートへのケーブル接続について説明します。  
本商品とケーブル類や別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」の取り付けを行なう際には必ず電源を切ってから行ってください。

### 1.7.1 回線と電話機の接続

はじめに回線と電話機を接続し、INS ネット回線が正しく接続されていることを確認します。



#### ① LINE

付属のモジュラケーブルを INS ネット 64 回線用モジュラジャックにつなぎます。  
モジュラジャック部分の末尾に“C”が付いた型番 (例えば MJ-2C など) が表記されている場合は、モジュラジャックがコンデンサ内蔵タイプのものであることを示しています。この場合は DSU の接続にあたってコンデンサの取り外しが必要となります。局番なしの 113 番または当社の営業所等へお問い合わせください。

#### ② S/T

S/T 端子にデジタル通信機器を 1 台のみ接続する場合は、「終端抵抗あり」で使用してください。このとき、S/T 端子から接続する機器までのケーブルの長さは 10m 以内としてください。S/T 端子にデジタル通信機器を 2 台以上接続する場合や 10m を越えるケーブルを使用する場合は、「終端抵抗なし」で使用してください。このとき、最遠端のモジュラローゼットに、終端抵抗が必要になります。終端抵抗の接続・切り離しの操作は、設定スイッチの No.1、2 で行ないます。

No.1 ~ 2 : ON 終端抵抗を使用する。

No.1 ~ 2 : OFF 終端抵抗を使用しない (終端抵抗を切り離す)。

IPMATE1600RD の電源が入っていないときは、S/T 端子に接続されているデジタル通信機器は使用できません。また停電モード時に S/T 端子に接続した局給電動作機器は使用できません。

### • 外部 DSU との接続

内蔵の DSU を切り離し、S/T 端子で外部 DSU に接続して使用することができます。DSU の切り離しは、本体側面の電池ボックス内の設定スイッチの No.3 ～ 6 で行ないます。

No.3 ～ 6 : ON 内蔵 DSU を使用する。

No.3 ～ 6 : OFF 内蔵 DSU を使用しない (DSU を切り離す)。

外部 DSU と接続する場合は、本商品背面の S/T 端子と外部 DSU の S/T 端子 (通常「TE」「TERMINAL」などと表示) とを 8 ピン (RJ-45) モジュラケーブルで接続してください。

### 参照

- 詳しくは、「付録 5 設定スイッチ」(p. 付 -15) をご参照ください。

### ③ TEL1/TEL2

IPMATE1600RD の TEL1/TEL2 ポートには、トーン (プッシュ) 式 (PB) のアナログ通信機器が接続できません。(パルス式のアナログ機器には対応していません)

ポートには、6 極 2 芯のモジュラケーブルで接続できるアナログ通信機器を接続してください。また、(財) 電気通信端末機器審査協会の適合認定を取得しているアナログ通信機器を接続してください。IPMATE1600RD のポートにモデムやファクスを接続する場合は、そのポートではキャッチホン機能を利用しない設定にしておいてください。

### 参照

- 詳しくは「第 4 章 アナログポートの使い方」(p.4-1) をご参照ください。

### ④ 電源ケーブル、FG 端子

本体後面の電源ケーブルを AC100V の電源コンセントに接続してください。

IPMATE1600RD の電源 ON/OFF は、本体背面の電源スイッチで行ないます。

また、FG 端子をアース線で電源コンセント付近のアース端子に接続してください。

### 警告

- 電源電圧は AC100V ± 10V (50Hz/60Hz) でお使いください。この範囲を超える電圧での使用は、本商品の破壊や発火の原因ともなりますので、絶対に避けてください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり束ねたりしないでください。また、重量物を載せたり、加熱したりしないでください。電源ケーブルが破損し、火災や感電の原因となります。

### 注意

- 濡れた手で電源ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
- 電源のタコ足配線はおやめください。故障、感電、発火の原因になります。
- 電源ケーブルは電源コンセントに、きちんと奥まで差し込んでください。差し込み方が不十分だと、ショートや発火の原因になります。

- 接続を始める前に必ず IPMATE1600RD やパソコンの電源を OFF にしてから作業してください。電源を入れたまま作業すると、機器の破損もしくは故障の原因になります。
- ケーブル類の接続 / 取り外しを行なう際は、IPMATE1600RD およびパソコン本体の電源を OFF にしてから行なってください。故障や誤動作の原因となる場合があります。
- 本体後面の TEL1、TEL2、S/T、USB、LINE、LAN、WAN の各ポートおよび FG には指や異物を挿入しないでください。感電や故障の原因になります。
- ケーブル類は屋内のみで配線してください。雷などによる故障の原因となりますので、屋外にわたる配線は行なわないでください。
- 設定スイッチの切り換えは、必ず IPMATE1600RD の電源を OFF にし、本体後面の LINE、S/T 端子モジュラケーブルをはずして行なってください。
- 設定スイッチは、正しい設定状態でご使用ください。不適切な設定での使用は故障の原因になります。
- 本商品は縦置きあるいは横置きにて設置可能です。
- ワイヤレス LAN 機能をご使用の場合は、無線到達距離を向上させるため、スタンドを用いて縦置きにしてお使いください。

## ● 接続の確認

- 1 回線を接続します。**  
付属のモジュラケーブルを、本体背面の「LINE」ポートにつなぎます。  
ケーブルの反対側を INS ネット 64 用モジュラジャックにつなぎます。
- 2 アース線を接続します。**  
アース線を本体背面の「FG」につなぎます。落雷等の電撃事故による人体や装置の損傷を防ぐために、必ず行なってください。
  - アース線はご利用の環境に合った長さの物をお買い求めください。
- 3 アナログ通信機器、INS ネット用デジタル通信機器を接続します。**
- 4 電源コードをコンセントに差し込みます。**
- 5 本商品の電源を入れます。**
  - 電源投入直後はすべてのランプが橙点灯となります。
  - 電源投入後、本商品が動作可能な状態になると、POWER ランプが緑点灯となります。
  - その他のランプ表示は、お使いになる動作モードや、接続されている機器によって異なります。詳しくは「1.3 各部の名前」の「ランプ表示」(p.1-5)をご参照ください。

## 6 電話がかかることを確認します。

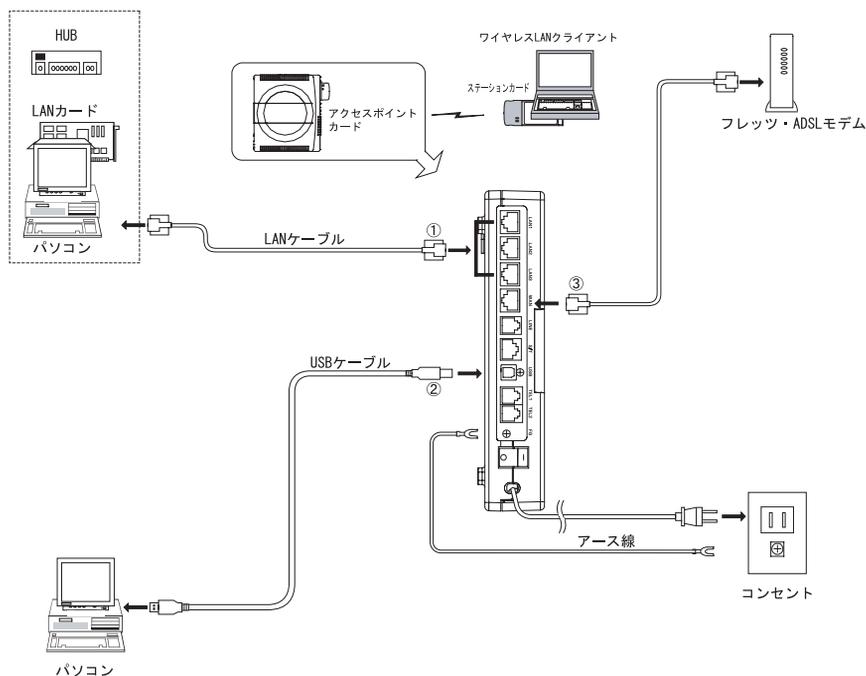
- 本商品に接続した電話から 117 などをダイヤルし、時報などが聞こえることを確認します。
- 確認できたら、ハンドセットを置きます。「4.4 アナログ通信機器の使い方」(p.4-19)

### ☆Point

- 117 に電話をかけると通話料金がかかります。
- つながらない場合は、電話機の接続と、電話機のダイヤル種別が「トーン」(プッシュ対応) になっていることをご確認ください。

## 1.7.2 パソコン、その他の機器の接続

パソコンを LAN ポートや、USB ポートに接続してインターネットに接続します。



### ① LAN

LAN インタフェース (10BASE-T/100BASE-TX) を持つパソコンや HUB と接続します。

- パソコンを LAN ポートに接続する場合は、本商品とパソコンを接続する前に、パソコンのネットワーク設定が必要です。→ 「2.1 ネットワークの設定」(p.2-1)

## ② USB

本体背面の USB ポートとパソコン本体を、付属の USB ケーブルで接続します。

ダイヤルアップモード、ブロードバンドモード時に USB ポートがパソコンのネットワークカードとして認識されます。TA モード時にインターネットへの接続や、設定ユーティリティを使用した設定を行いません。各 OS (Windows®98SE、Windows®2000、Windows®Me、Windows®XP) への USB ドライバのインストールは付属の CD-ROM で行いません。

Windows®95、Windows®98、WindowsNT®4.0 等、上記以外の OS では、USB ポートをご利用いただけません。

本商品の USB ポートは USB-HUB に接続してお使いいただくことはできません。パソコン内蔵の USB ポートに直接接続してお使いください。

- パソコンを USB ポートに接続する場合は、本商品とパソコンを接続する前に、パソコン専用 USB ドライバのインストールが必要です。→「[1.9 USB ポートを使うには](#)」(p.1-27)
- パソコンを USB ポートに接続して、本商品を TA モードでご使用になる場合、TA モード用設定ユーティリティのインストールが必要です。→付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第 2 部「[第 7 章 TA モードの使い方](#)」(p.7-1)
- パソコンを USB ポートに接続して、本商品をダイヤルアップルータモード、ブロードバンドルータモードでご使用になる場合、パソコンのネットワーク設定が必要です。→「[2.1 ネットワークの設定](#)」(p.2-1)

### 参照

- 詳しくは付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第 2 部「[第 7 章 TA モードの使い方](#)」(p.7-1) をご参照ください。

## ③ WAN

ADSL モデムと接続します。

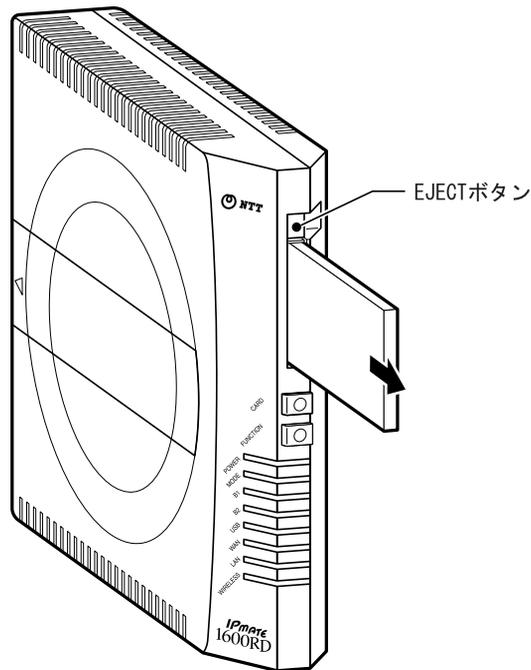
- WAN ポートに接続するケーブルはご使用になる ADSL モデムに合わせてご用意ください。

### 1.7.3 アクセスポイントカードの接続

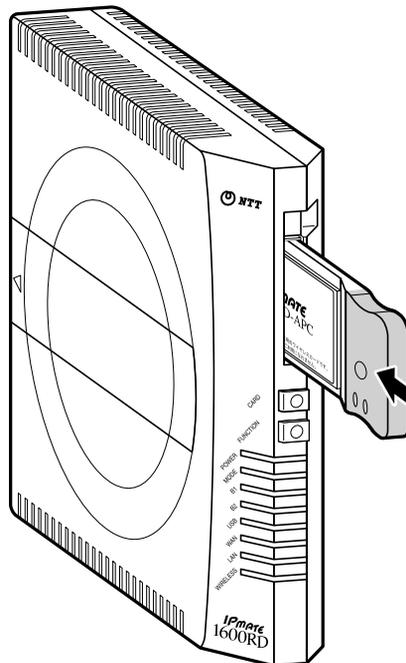
専用オプションアクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC) を本商品のアクセスポイントカードスロットに装着し、2.4GHz 帯周波数を使った IEEE802.11b 規格に準拠したワイヤレスアクセスポイント機能を追加できます。

以下の手順で装着してください。

- 1** IPMATE1600RD の電源を切り、EJECT ボタンを押してアクセスポイントカードスロットに入っているダミーカードを取り出してください。



- 2** 専用オプション アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC) を本商品のアクセスポイントカードスロットに向け、ラベル面を本商品の電池ケース側に向けて挿入します。本商品のアクセスポイントカードスロットの奥までしっかり差し込んでください。



- 3** 本商品の電源を入れ WIRELESS ランプが緑色に点灯することをご確認ください。点灯しない場合は、IPMATE1600RD の電源を切り、EJECT ボタンを押してアクセスポイントカードを抜き、再度しっかりと挿入し直してください。

☆Point

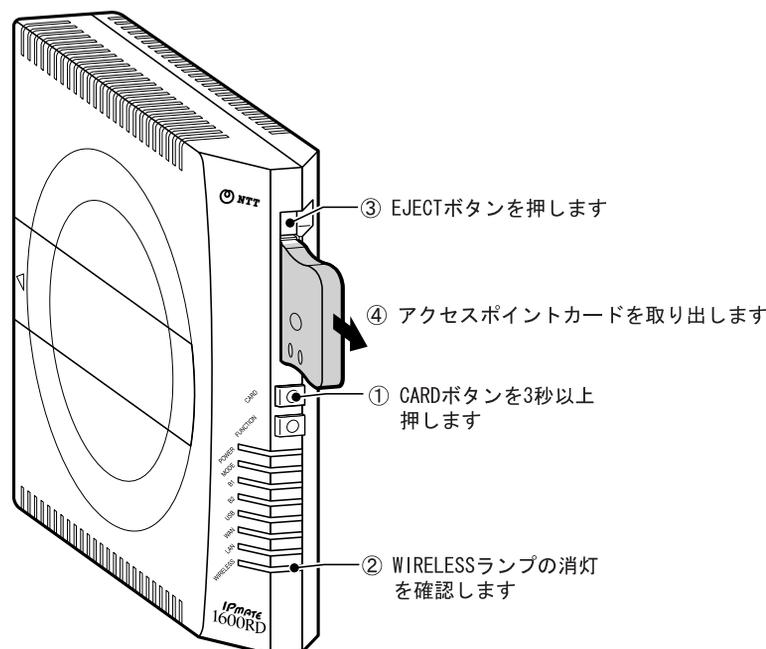
---

- 本商品のワイヤレス LAN をお使いになるには、パソコンに専用オプションステーションカード (IPMATE1600RD-STC) をインストールし、ネットワーク設定を行なう必要があります。詳しくは「IPMATE1600RD-STC 取扱説明書」をご参照ください。

## 1.7.4 アクセスポイントカードの取り外し

**1** IPMATE1600RDの電源が入っている状態で専用オプションアクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC) を取り外す場合は、以下の手順で操作します。

① CARD ボタンを 3 秒以上押し、② WIRELESS ランプが消灯したのを確認して③ EJECT ボタンを押し、④ アクセスポイントカードを取り出してください。



### 📖 参照

- WIRELESS ランプが赤点滅する時は、「1.8 動作の確認」(p.1-24) をご参照ください。

### ☆Point

- ワイヤレス LAN 機能を利用しない場合は、カードスロットにダミーカードを挿入してください。
- 電源が OFF の状態でアクセスポイントカードを取り外す場合は、そのまま EJECT ボタンを押してください。

## 1.8 動作の確認

接続が完了したら、本体後面の電源スイッチを ON にして、通信を行なう前にランプの点灯状態を確認してください。IPMATE1600RD には、ダイヤルアップルータモード、ブロードバンドルータモード、TA モードの3つの動作モードがあります。モードの切り替えは、WEB ブラウザや設定ユーティリティを使用して行ないます。各モードのランプ点灯状況は以下の通りです。

### ☆Point

- お買いもとめ時の動作モードは「ダイヤルアップルータモード」です。

#### ● ダイヤルアップルータモード

POWER :	緑色に点灯します。
MODE :	緑色に点灯します。
LAN :	LAN ポートにパソコンが接続され、パソコン起動状態で緑色に点灯します。
USB :	パソコンと USB ポートで接続し、パソコン起動状態で緑色に点灯します。
WIRELESS :	アクセスポイントカードスロットに装着した別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」を正常に認識したとき、緑色に点灯します。

#### ● ブロードバンドルータモード

POWER :	緑色に点灯します。
MODE :	橙色に点灯します。
LAN :	LAN ポートにパソコンが接続され、パソコン起動状態で緑色に点灯します。
WAN :	WAN ポートに ADSL モデム、その他のネットワークの HUB 等が接続されている場合緑色に点灯します。
USB :	パソコンと USB ポートで接続し、パソコン起動状態で緑色に点灯します。
WIRELESS :	アクセスポイントカードスロットに装着した別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」を正常に認識したとき、緑色に点灯します。

#### ● TA モード

POWER :	緑色に点灯します。
MODE :	赤色に点灯します。
USB :	パソコンと USB ポートで接続し、パソコン起動状態で緑色に点灯します。

## 《正常にランプが点灯しない場合》

以下の内容についてご確認ください。

### ● POWER ランプが点灯しない場合

- 電源ケーブルが電源コンセントに正しく接続されていることを確認してください。
- 電源ケーブルや電源コンセントに電源が来ていることを確認してください。
- 停電等でバックアップ用乾電池で駆動している場合は赤点灯、乾電池駆動時に電池残量が少なくなってきた場合は赤点滅となります。

### 参照

- 詳しくは、「[1.3 各部の名前](#)」(p.1-4)をご参照ください。

### ● B1、B2 ランプが赤点滅する場合

#### 内蔵 DSU 使用時

- モジュラケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 電池ボックス内の設定スイッチの No.3～6 が ON になっていることを確認してください。
- S/T 端子に他の ISDN 機器を接続していない場合は、電池ボックス内の設定スイッチの No.1、2 が ON になっていること、他の ISDN 機器を接続している場合は OFF になっていることを確認してください。

#### 内蔵 DSU 非使用時

- S/T 端子にケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 電池ボックス内の設定スイッチの No.3～6 が OFF になっていることを確認してください。
- S/T 端子に接続されている ISDN 機器のうち DSU より一番遠い機器の終端抵抗スイッチが ON になっていることを確認してください。

### ☆Point

- ブロードバンドルータモードで ISDN 回線と接続しない場合、設定により B1/B2 ランプが赤点滅しないようにすることが可能です。付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第 2 部「[6.15 ランプ表示](#)」(p.6-51)をご参照ください。

## ● USB ランプが点灯しない場合

- USB ドライバのインストールが正常に行なわれていることを確認してください。
- ドライバソフトウェアを組み込んだ際に接続したパソコンの USB ポートに接続していること、またパソコンに電源が入っていることを確認してください。
- USB ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

### 参照

---

- 詳しくは「[1.9 USB ポートを使うには](#)」(p.1-27)をご参照ください。

## ● LAN ランプが点灯しない場合

- IPMATE1600RD と接続されたパソコンのネットワークカードが正しくインストールされていること、またパソコンに電源が入っていることを確認してください。
- LAN ポートに LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- LAN ポートに接続されたケーブルが 100m を超えないことを確認してください。
- 適切な LAN ケーブルが使用されているか確認してください。

### 参照

---

- 詳しくは、「[1.7.2 パソコン、その他の機器の接続](#)」の「[① LAN](#)」(p.1-19)をご参照ください。

## ● WIRELESS ランプが点灯しない場合

- ダミーカードが装着されていないかを確認してください。
- 別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」が IPMATE1600RD のアクセスポイントカードスロットに、正しく奥まで差し込まれていることを確認してください。
- 本体前面の CARD ボタンを約 3 秒間押してみてください。

## ● WIRELESS ランプが赤点滅する場合

- 別売の専用オプション「アクセスポイントカード (IPMATE1600RD-APC)」を取り付け直してください。
- 本商品専用オプションアクセスポイントカード以外の PC カードが取り付けられていないことを確認してください。

### 参照

---

- アクセスポイントカードの接続につきましては、「[1.7.3 アクセスポイントカードの接続](#)」(p.1-20)をご参照ください。

## ● MODE ランプが正常に点灯しない場合

- WEB ブラウザ、設定ユーティリティで正しいモードに設定されていることを確認してください。

## ● WAN ランプが正常に点灯しない場合

- ADSL モデムの電源が入っていることを確認してください。
- ADSL モデムを接続しているケーブルの種類などを確認してください。
- ブロードバンドモード以外では接続されていても点灯しません。

## 1.9 USB ポートを使うには

本商品の USB ポートに付属の USB ケーブルを用いて、パソコンの USB ポートに接続することができます。

USB ポートは、本商品の動作モードによって、USB-LAN と USB モデム（シリアルデータポート）に自動判別されます。

- 本商品の USB ポートは以下の OS に対応しております。

Windows®98SE、Windows®Me、Windows®2000、Windows®XP

### 1.9.1 動作モードと USB ポートの機能

本商品の USB ポートをご利用になるには専用のドライバをインストールする必要があります。

本商品の USB ポートは、動作モードに対応して以下のように機能が異なります。

動作モード	ダイヤルアップルー タモード	ブロードバンドルー タモード	TA モード
USB ポートの機能	USB-LAN	USB-LAN	USB (シリアル)

USB ドライバは、動作モードを自動判別して動作します。

本商品に付属の CD-ROM をご用意ください。

#### ☆Point

- USB ドライバのインストールは、専用管理ツールにて、ソフトウェアのコピーを先に行ないます。  
ここではまだケーブルを接続しないでください。

## 1.9.2 USB ドライバのインストール手順

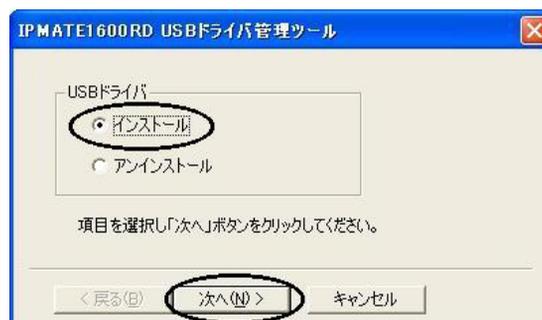
### ☆Point

- USB ドライバのインストールは、専用管理ツールにて、ソフトウェアのコピーを先に行ないます。  
ここではまだケーブルを接続しないでください。

- 1** 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。IPMATE1600RD のメニュー画面が表示されます。「USB ドライバ インストール/アンインストール」をクリックします。



- 2** IPMATE1600RD USB ドライバ管理ツールが起動されます。「インストール」を選択し、「次へ」をクリックします。



**3 設定スイッチの確認メッセージが表示されます。**

本商品の USB ポートをお使いになる場合、お使いの OS に応じて設定スイッチの設定が必要です。(下図は Windows®XP の場合です)

**4 設定スイッチを確認して、「次へ」をクリックします。****☆Point**

- 本商品の設定スイッチを変更する場合は、必ず IPMATE1600RD の電源を切ってから作業してください。

IPMATE1600RD USB ポートを使用する場合の設定スイッチ 7 番設定

	設定スイッチ 7 番
Windows®98SE	ON
Windows®Me	OFF
Windows®2000	OFF
Windows®XP	OFF

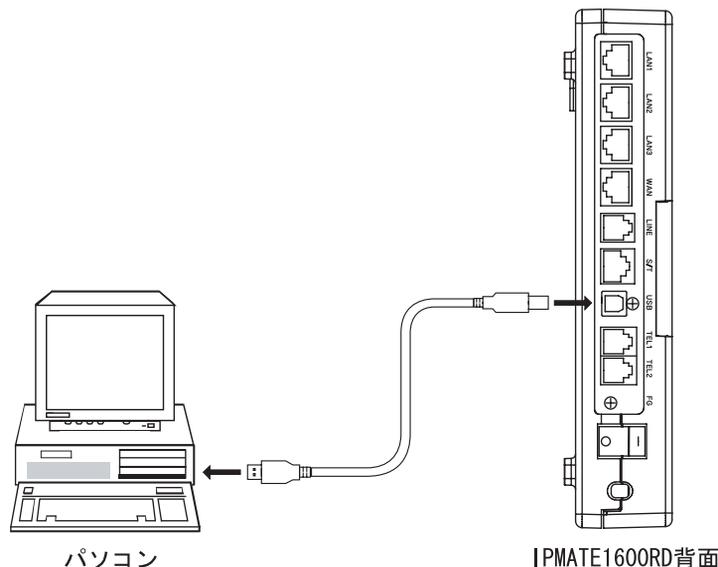
**📖 参照**

- 本商品の設定スイッチの位置については、「1.3 各部の名前」(p.1-4)をご参照ください。
- 設定スイッチの詳細については、「付録 5 設定スイッチ」(p. 付-15)をご参照ください。

**5 インストール完了が表示されたら、「完了」をクリックします。****6 IPMATE1600RD のメニュー「終了」をクリックして、パソコンを再起動してください。**

## 1.9.3 USB ケーブルの接続

- 1 IPMATE1600RD の電源を入れます。
- 2 添付の USB ケーブルを、IPMATE1600RD とパソコンのそれぞれのポートに接続します。



- 3 IPMATE1600RD USB ドライバ管理ツールでインストール実行後、最初に USB ケーブルを接続したときに、Windows が新しいデバイスを認識して、ドライバのインストールが開始されます。

IPMATE1600RD の動作モードとお使いのパソコンの OS の組み合わせに対応して、以下の手順で設定してください。

【ダイヤルアップモード、ブロードバンドモードの場合】

「1.9.4 USB-LAN アダプタ ドライバの組込み」(p.1-31) ⇒ 「2.1 ネットワークの設定」(p.2-1)

【TA モードの場合】

「1.9.5 USB (シリアル) アダプタ ドライバの組込み」(p.1-33) ⇒ 付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第 2 部 「7.2 ソフトウェアの設定」(p.7-2)

## 1.9.4 USB-LAN アダプタ ドライバの組込み

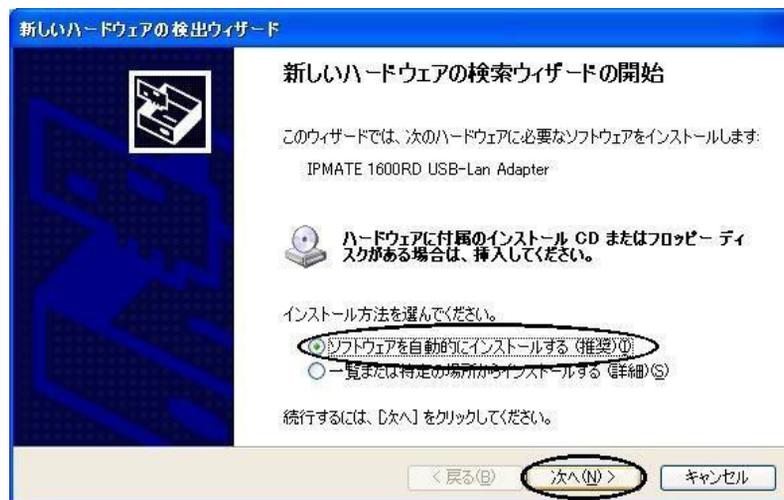
ダイヤルアップルータモード、ブロードバンドルータモードの IPMATE1600RD とパソコンを USB ケーブルで接続する場合、パソコンへの USB-LAN アダプタ組込みは、以下の手順で行ないます。

IPMATE1600RD USB ドライバ管理ツールでファイルコピー後、IPMATE1600RD と USB ケーブルで初めて接続したときに、「新しいデバイス」が検出され、USB-LAN ドライバの組込が開始されます。

### ☆Point

- 以下の操作手順に使用した画面例は Windows®XP のものです。お使いの OS (Windows) によって画面表示が異なる場合があります。

- 1** IPMATE1600RD の電源を ON にします。パソコンと IPMATE1600RD を付属の USB ケーブルで接続します。
- 2** IPMATE1600RD USB-Lan Adapter を自動的に検出しインストールを行ないます。  
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示され、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



**3** USB ドライバ管理ツールでコピーされたドライバファイルが検索されます。

Windows®2000、および Windows®XP のパソコンで、以下のメッセージが表示された場合は「続行」をクリックします。



**4** インストール完了が表示されたら、「完了」をクリックしてインストールを終了してください。



**5** 以上で、USB-LAN ドライバのインストールが完了しました。

次にパソコンのネットワーク設定を行ないます。

「2.1 ネットワークの設定」(p.2-1) をご参照ください。

## 1.9.5 USB (シリアル) アダプタ ドライバの組込み

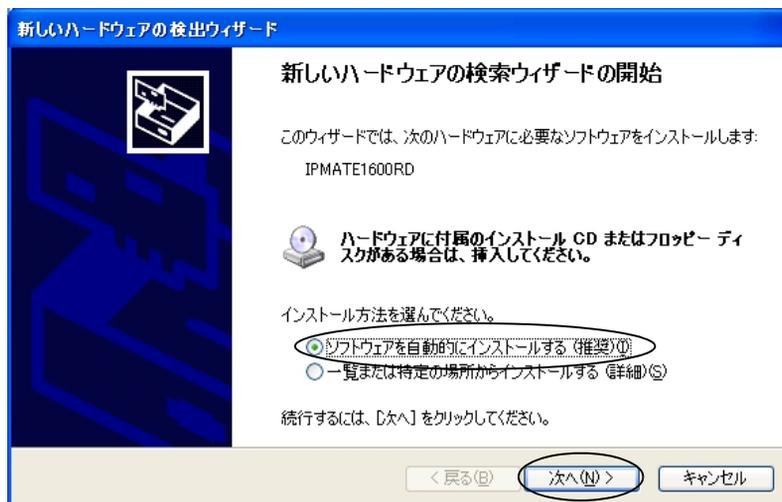
TA モードの IPMATE1600RD とパソコンを USB ケーブルで接続する場合、パソコンへの USB (シリアル) アダプタの組込みは、以下の手順で行ないます。

IPMATE1600RD USB ドライバ管理ツールでファイルコピー後、IPMATE1600RD と USB ケーブルで初めて接続したときに、「新しいデバイス」が検出され、USB (シリアル) ドライバの組込が開始されます。

### 参照

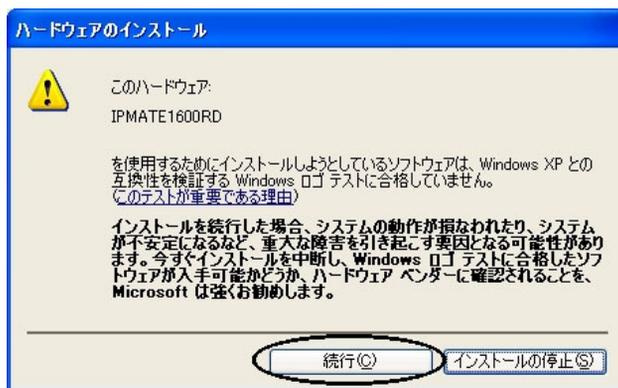
- 添付 CD-ROM からの、USB ドライバインストールについて、詳しくは「1.9.2 USB ドライバのインストール手順」(p.1-28) をご参照ください。

- 1** IPMATE1600RD の電源を ON にします。パソコンと IPMATE1600RD を付属の USB ケーブルで接続します。
- 2** IPMATE1600RD を自動的に検出しインストールを行ないます。「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示され、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



### 3 USB ドライバ管理ツールでコピーされたドライバファイルが検索されます。

Windows®2000、および Windows®XP のパソコンで、以下のメッセージが表示された場合は「続行」をクリックします。



### 4 インストール完了が表示されたら、「完了」をクリックしてインストールを終了してください。



USB (シリアル) アダプタのインストールが完了しました。

TA モードで IPMATE1600RD に接続するには、付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第 2 部「7.2 ソフトウェアの設定」(p.7-2) をご参照ください。

#### ☆Point

- USB ポートが 2 つ以上あるパソコンに接続する時は、ドライバの組込を実施した時と同じ USB ポートに接続してください。

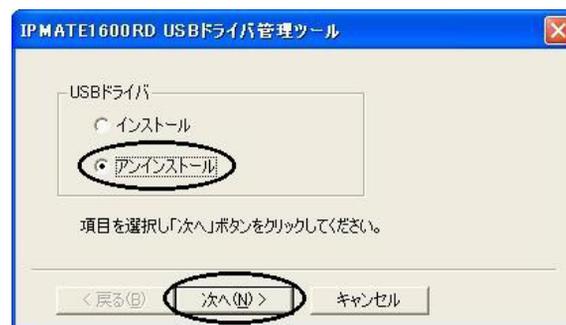
## 1.9.6 USB ドライバのアンインストール

USB ドライバのアンインストールは付属の CD-ROM 内の USB ドライバ管理ツールより、アンインストールを選択して行ないます。

- 1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。IPMATE1600RD のメニュー画面が表示されます。「USB ドライバ インストール/アンインストール」をクリックします。



- 2 IPMATE1600RD USB ドライバ管理ツールが表示されます。「アンインストール」を選択し、「次へ」をクリックします。



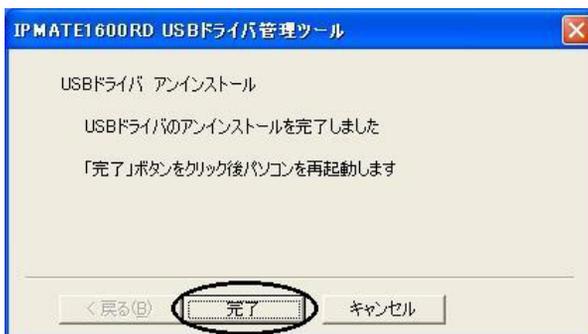
- 3** USB ドライバアンインストールメニューが表示されます。削除するドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



- 4** アンインストール対象ドライバを確認し、「次へ」をクリックします。



- 5** 「USB ドライバのアンインストールを完了しました」のメッセージが表示されます。「完了」をクリックすると、パソコンが再起動されアンインストールが完了します。



以上で USB ドライバが削除されました。